

**Q&A 共産主義と自由**  
**『資本論』を導きに**  
**志位 和夫 著**  
 定価 900円(税込)  
 新日本出版社 発行

# 福井民主新聞

発行所 日本共産党福井県委員会  
 〒910-0015 福井市二の宮5-7-25  
 電話0776(27)3800 F A 0776(27)3803  
 定価 月100円  
 毎月3回 5.15.25日発行

## さよなら原発集會 福島原発事故から14年



東京電力福島第一原発事故の発生から14年が経つのを前に「さよなら原発福井県集會」が8日、福井市で開かれ、会場とオンラインで計350人が参加しました。関西電力の使用済み核燃料を県外搬出する実効性がない工程表と県の無責任な対応に対し、県民説明会を求める集會アピールを拍手で採択。「関西電力は原発やめろ」と訴えてデモ行進しました。

実行委員会主催で、原発からの脱却の思いを込めた、「うたごえやスピーチ、資料展示などの多彩な企画が続き、共同代表の山本富士夫福井大学名誉教授が「ロードマップ(工程表)の誤りを許さず、老朽原発の運転を停止させましょう」とあいさつで呼びかけ。小林昭三新潟大学名誉教授が原発をめぐる住民投票で、長沢啓行大阪府立大学名誉教授が工程

## 福井女子中学生殺人 再審即日結審 前川さんが無実訴え 高裁金沢支部

1986年に福井市で起きた女子中学生殺人事件の再審初公判が6日、名古屋高裁金沢支部で開かれ、即日結審しました。殺人罪で有罪とされ服役を終えた後も一貫して無罪を主張してきた前川彰司さん(59)が意見陳述し、あらためて無実を訴えました。

前川さんは「えん罪です。無罪を求めます」「私はハートがずたずた、ぼろぼろです」と訴えました。

高裁金沢支部は、検察はなお「控訴審判決は妥当」だと主張しました。事件は3月19日夜、女子生徒が市営住宅の自宅で包丁などで殺害されたもので、翌87年、県警は殺人容疑で前川さんを逮捕します。物的証拠はなく、「犯行後の血を付けた前川を見た」などとする暴力団関係者らの供述も変遷を重ねたため、90年、一番は無罪判決(福井地裁)に。しかし、高



会見を行う前川さん(左から3人目)

裁金沢支部は懲役7年の逆転有罪判決を出し、最高裁で97年に確定します。前川さんの再審請求に、高裁金沢支部は再審開始を決めますが、検察の異議申し立てで取り消され、2度目の再審請求で昨年、ようやく一審無罪判決から34年、最初の再審開始決定から13年にして再審開始が確定しました。

暴力団関係者らの供述変遷の背景には、供述の矛盾の隠蔽、誘導、覚醒剤取引の罪を握りつぶす「闇取引」などがあったことが第2次

## 「陳情でもしつかり審議を」 関電工程表見直し 使用済み核燃料対策



オール福井反原発連絡会は2月12日、関西電力が破綻した使用済み核燃料対策工程表を取り繕い示す新たな工程表について、拙速に受け入れずに県民の声を聞くよう、県議会に陳情しました。事務局を務める林広員さんらが県議会議事堂で応対した村崎明子県議会局

次長に陳情書を提出しました。(写真)

関電は使用済み核燃料の県外搬出を県に約束しながら繰り返し反故にし、一昨年10月に①青森県の六ヶ所再処理工場に搬出する②フランスに搬出する③原発敷地に乾式貯蔵するなどの内容で示した工程表も、再処理工場の27回目となる完成延期表明で破綻しました。フランス搬出を積み増すことで取り繕おうとしています。

会側は、関電の「2023年末までに(使用済み核燃料の)中間貯蔵施設の県外候補地を示せなければ、40年を超す原発の稼働を停止する」との約束通り、原発停止を求めました。また、県民から「乾式貯蔵は中間貯蔵施設と同じで、最終処分地になりかねない」との声が出ているとして、県民説明会を求め、「陳情でも議会ですっかり審議を」と訴え。

村崎県議会局次長は「今回受けた話を議長にしっかりと伝える」と答えました。

老朽原発「こかすな!」実行委員会もともに陳情しました。

## 全市町住民の意見採り入れて 関電工程表見直し 使用済み核燃料対策

原子力発電に反対する福井県民会議は1月29日、関西電力から示される使用済み核燃料対策工程表の見直し案を了承するかの判断には、県内全17市町の住民の意見を採り入れるよう県に求めました。同県民会議の中野哲演、松下照幸両代表委員、日本共産党の金元幸枝県書記長、佐藤正雄県副委員長など計10人が県庁を訪れ、原子力安全対策課の吉田潔弘参事が応対しました。

会側は「17市町の意見、県民の意見を採用に入れて」と要求。

## 県に要請

吉田参事は「国と関電に対し、使用済み核燃料の必要な搬出容量が確保できる実効性のある方策を(2月17日開会予定の)2月県議会前に示すよう求めている」とのべました。判断は「県議会や県原子力環境安全管理協議会で意見をきいたうえで」として従来通りの枠組みに固執しました。

会側は「同じ失敗を起すことになる」と警告。また、工程表で掲げる美浜、大飯、高浜の各発電所構内に使用済み燃料乾式貯蔵施設を設置する計画について、説明会を県内複

数箇所を開くよう求めました。

関電が2023年10月に示した工程表は、2026年度からの六ヶ所再処理工場(青森県)による使用済み燃料受け入れ開始が工場完成目標の2年半延期となり、1年足らずで破たんしました。県と県議会は工程表を受け、同社の美浜原発3号、高浜原発1、2号の運転継続を認めた経緯があります。工程表には、原子炉建屋の水冷保管プールが使用済み燃料で満杯になって原発を運転継続できなくなる事態を避けたいねらいと、使用済み燃料の県外搬出を県と約束した体裁を保つ思惑が絡んでいます。

美浜3号  
高浜1~4号

# 原発運転差し止めを 仮処分即時抗告審



要裁判前アピールを拒否人支援者ら

関西電力の老朽原発である美浜3号機と高浜1号機と高浜2号機に対する運転差し止め仮処分の即時抗告審で、第3回審尋が2月28日、名古屋高裁金沢支部(大野和明裁判長)で開かれ、住民側が意見陳述で、国や関電、福井県に対する不信感を訴えました。

超え、高浜4号も今年40年を経過します。美浜3号には住民9人が、高浜1号と4号には住民2人が仮処分申し立てし、福井地裁が昨年3月、却下する決定を出し、現在に至っています。

越前町議選(定数14、立候補17人)が2日投票開票され、日本共産党の中西清氏(76)が現職の中西清氏(76)に403票(得票率3・45%)を獲得しましたが、議席を守りませんでした。投票率(71・00%)は前回より3・36%下がり、中西氏の得票数・率は前回比125票、0・63%後退し、昨年総選挙の日本共産党比例票との対比では103票、

震は起こりうる。の3点を説明しました。次回は7月11日に決まりました。

給食や高校卒業までの医療費の完全無料化、町指定ゴミ袋の半額化などの実績とともに、町独自の奨学金制度やコミュニティバスの利便性向上などの公約を訴えました。

結果詳細は次の通り。  
◆福井県越前町14~17  
中西 清76現  
403 15位  
▽共0(1)無14(13)  
(投票率71・00%)

「高額療養費の負担引き上げは見送り」  
来年度予算案の審議の舞台が参議院に移った冒頭、石破首相が表明せざるを得なくなりました。少数になった与党と維新が部分的修正で合意し、高額療養費引上げを含んだままの予算案を衆院で可決しましたが、患者の皆さんの訴えと国民世論が与党を追い詰めたのです。少数与党に追い込んだ国会が、世論

# 国保税引き下げを 県社保協が要望

福井県社会保険推進協議会は2月12日、国民健康保険税の引き下げを県に要望しました。「物価高の収束が見えず、実質賃金の減少や年金給付額が物価高の上昇に追いつかない中、被保険者には国保税の負担がさらに大きくなる」として①国保税引き下げ②減免制度の拡充③一部負担金の減免改善④保険証取り上げ

と不当な差し押さえの中止の4点を求めました。(写真)  
同協議会が各市町に行った調査によれば、2020年度国保税は、未回答の池田、永平寺2町を除くと、敦賀市以外の14市町で、法定減免制度を適用する世帯が過半数になっています。

所得割、均等割は制度的に決まっている」とのべて国保税引き下げは困難とし、子どもの均等割は、「令和4(2022)年度から未就学児が5割軽減されている」「(減免を)もつとやっていると国に求められている」とのべました。一般会計からの法定外繰り入れは難色を示し、「国から非常に厳しく指導されている」と答えました。短期保険証がなくなることを説明し、「心配しているのは納税相談が途絶え、悪い方向に行くことだ」とのべました。



協議会側は「子どもが増えるほど保険税が高くなるのは少子化対策に逆行している」「もともと所得が少ない人は一部負担金の軽減を受けられない」と訴えました。

「3・13重税反対統一行動」が13日、各地で行われ、福井県でも、福井、三国、敦賀の各税務署管内の地域で集会やデモ行進、要請行動、集団申告などが取り組まれ、「消費税減税やインボイス廃止の共同をいっそう強めていきましょう」と呼びかける集会アピールを

「高額療養費の負担引き上げは見送り」  
来年度予算案の審議の舞台が参議院に移った冒頭、石破首相が表明せざるを得なくなりました。少数になった与党と維新が部分的修正で合意し、高額療養費引上げを含んだままの予算案を衆院で可決しましたが、患者の皆さんの訴えと国民世論が与党を追い詰めたのです。少数与党に追い込んだ国会が、世論

「物価高の収束が見えず、実質賃金の減少や年金給付額が物価高の上昇に追いつかない中、被保険者には国保税の負担がさらに大きくなる」として①国保税引き下げ②減免制度の拡充③一部負担金の減免改善④保険証取り上げ

# 3・13重税反対統一行動 集会・デモ・集団申告も



「高額療養費の負担引き上げは見送り」  
来年度予算案の審議の舞台が参議院に移った冒頭、石破首相が表明せざるを得なくなりました。少数になった与党と維新が部分的修正で合意し、高額療養費引上げを含んだままの予算案を衆院で可決しましたが、患者の皆さんの訴えと国民世論が与党を追い詰めたのです。少数与党に追い込んだ国会が、世論

「高額療養費の負担引き上げは見送り」  
来年度予算案の審議の舞台が参議院に移った冒頭、石破首相が表明せざるを得なくなりました。少数になった与党と維新が部分的修正で合意し、高額療養費引上げを含んだままの予算案を衆院で可決しましたが、患者の皆さんの訴えと国民世論が与党を追い詰めたのです。少数与党に追い込んだ国会が、世論

「暮らしに冷たい  
予算案組み替えを  
参議院議員・比例  
代表予定候補  
井上さとし

と運動で願いを実現する新しい条件を持つて、いることを改めて示しました。  
この間、国会に願いを届ける多くの集会やデモが予定を大きく上回る参加者で熱気にあふれています。さらに力を合わせて願い実現に全力を挙げるとともに、参院での予算審議では、異常な軍事費の突出と大企業へのバラマキの一方で暮らしに冷たい予算案の組み替えを求め、責任ある財源論も示してがんばります。

七月の参院選挙で五人の比例代表予定候補の一人として勝利するために力を尽くします。一緒に本物の改革を実現しましょう。ご支援よろしくお願ひします。